

武蔵野市議会だより

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

No.394

発行日 令和5(2023)年11月15日

発行 武蔵野市議会

市議会ホームページ

<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 2-3面
- 決算に対する各会派の討論 4面
- 一般質問 5-7面
- 議案等審議結果一覧 8面
- 陳情審議結果 8面

第三回 市議会定例会

第三回定例会は九月五日から同月二十九日まで開催されました。
今議会では、二十二人の議員による一般質問が行われたほか、令和四年度武蔵野市決算の認定についてなど十四件の市長提出議案が可決され、健康保険証の存続を求める意見書の議員提出議案が否決されました。

令和四年度決算を認定

一般会計歳入は七百九十三億円、一般会計歳出は七百五十一億円

「令和四年度武蔵野市決算の認定について」、「令和四年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」および「令和四年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」は、九月二十日に設置された決算特別委員会に付託され、同日に各会計決算の事項別説明を受けた後、九月二十一日から四日間の審査を行いました(二・三面に決算特別委員

会審査概要を掲載)。

九月二十九日の本会議では、木崎剛 決算特別委員長が委員会での審査経過の報告を行い、各会派の代表七名と会派に属さない議員二名の計九名が討論を行いました(四面に各会派の討論を掲載)。討論終了後の採決の結果、武蔵野市決算の認定については賛成多数で認定され、その他二議案は全会一致で可決され、および認定されました。

下水道条例の一部を改正する条例を可決

九月十四日の建設委員会での審査を経て、同月二十日の本会議において、「武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例」が賛成多数で可決されました。

本市の下水道は昭和四十年代に集中的に整備されたため、今後、老朽化対策等の事業費の増加が見込まれます。

本条例は、下水道事業の健全経営のため、下水道総合計画見直し及び下水道事業経営の在り方等検討委員会より出された意見等を踏まえて下水道使用料を改定するものです。

これにより、令和六年四月から、一か月当たりの基本使用料は四百九十円から五百九円となります。また、八立方メートルを超える従量使用料については、水量区分に応じて、一立方メートルにつき、二円から八円までの増額となります。

武蔵野市立第一中学校改築工事請負契約に関する三議案を可決

九月十二日の文教委員会での審査を経て、同月二十日の本会議において「武蔵野市立第一中学校改築工事請負契約」等、改築工事ならびに電気および機械設備工事の請負契約三議案がいずれも全会一致で可決されました。

契約は、制限付一般競争入札で電子入札により執行し、工事内容は校舎棟および体育館棟の改築ならびに改築に伴う電気および機械設備の工事です。

なお、契約金額は改築工事が三十億九千七百七十万円、電気設備工事が四億五千三百三十二万三千円、機械設備工事が八億二千九百四十万円、工期はいずれも議決の日の翌日から令和七年十月三十一日までの予定です。

Photo Gallery

フォトギャラリー

写真
募集中!

「リスの楽しみ、見る楽しみ」

撮影：内田 真一(武蔵野市)

場所：井の頭自然文化園 リスの小径(2011年4月28日)

もう12年も前、定年退職したばかりのときに井の頭自然文化園のリスの小径で撮った写真です。その1か月と少し前に起きたばかりの、東日本大震災の衝撃と混乱を一時忘れさせるような静かな空間がありました。



1面写真募集要領(次回の締め切り 令和6年1月5日)

- 内 容：武蔵野市内(市域が一部含まれる公園、施設等を含む。)で応募者自身が撮影した、未発表※のオリジナル作品(カラー)に限ります(人物が写っている場合は、必ずご本人の了承を得てください。)
※インターネット、SNS等で掲載したものや、個展や写真の掲載が主目的な催しは発表とする。ただし、地域行事への協力展示(例えば、コミセンや学校での展示など)は未発表とする。
- 規 格：①紙焼きの場合 ・サイズ 2L判～A4
②デジタルデータの場合
・ファイル形式 J P E G形式
・画像サイズ 1600×1200ピクセル以上
・ファイルサイズ 2MB程度まで
- 審 査：議会広報委員会が審査します。
- 発 表：採用された作品は、令和6年2月1日発行の市議会だよりに掲載する予定です。ただし、紙面構成の都合上、掲載しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 著 作 権：作品の著作権は撮影者本人に帰属します。ただし、次号の市議会だより発行までは、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- 期 限：令和6年1月5日(金曜日)当日消印有効
- 応募方法：撮影者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名・作品に関するコメント(100字程度)を明記のうえ、下記宛先までご応募ください(本名以外での掲載を希望する場合、上記に加え、ペンネーム(ふりがな)を明記してください)。作品は返却いたしません。なお、今回採用されなかった場合は、次号以降の市議会だよりの1面写真に使用させていただく場合があります。
- 宛 先：〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28
武蔵野市議会事務局市議会だより担当
デジタルデータの場合はメールで
ofc-gikai@city.musashino.lg.jp まで
(上記以外のメールアドレスや各種メディア等での送付はご遠慮ください。)

概要

令和4年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 暮らしと地域を守り育む予算」として編成されました。

令和4年度一般会計および3特別会計の歳入決算総額は1,095億7,111万円、歳出決算総額は1,047億3,088万円で、48億4,023万円が令和5年度へ繰り越されました。水道事業会計の収益的収入および支出は、収入35億6,269万円、支出35億9,484万円で、収益的収支は3,215万円のマイナスとなりました。下水道事業会計の収益的収入および支出は、収入28億5,755万円、支出27億7,040万円で、収益的収支は8,715万円のプラスとなりました。

普通会計で見る財政力指数は、単年度は1.517で、前年度に比べ0.103ポイント上昇し、3年間の平均は1.484で、前年度と同率でした。公債費負担比率は2.6%で、前年度に比べ0.2ポイント低下しました。経常収支比率は81.2%で、前年度に比べ3.0ポイント低下しました。東京都26市の平均を見ると、財政力指数(3年間平均)は0.947、公債費負担比率は6.8%、経常収支比率は90.4%となっており、各市との比較では、いずれも良好な数値を保っています。

以下は決算特別委員会における審査の概要です。

総括・人件費

予算に対する付帯決議の趣旨に沿う執行であったか

問 令和4年度予算に対しては、保健センター増築および複合施設整備に関し、基本計画案の議会への報告などを求める付帯決議が付された。

答 令和4年度予算は、この決議の趣旨に沿って執行されたと考えてよい。

問 付帯決議を受けて、武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議を設置したほか、市議会全員協議会を二回開催した。それらの議論を受けて、基本計画を策定した。

問 市職員の女性管理職が少なく大きな課題だが、何が要因と考えるか。

答 昇任を考える時期は子育てと重なりその後親の介護を担うようになる。責任をどこまで負えるか、自身の能力とのバランスを考慮した結果、昇任を希望しない方が多いと考える。

問 本市の内部統制体制の整備に関し、法令順守を軽視したような事例があり、監査委員からも指摘があるが、体制整備に向け今後の見通しは。

答 リスクマネジメントの取り組み

審査した特別委員

令和4年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

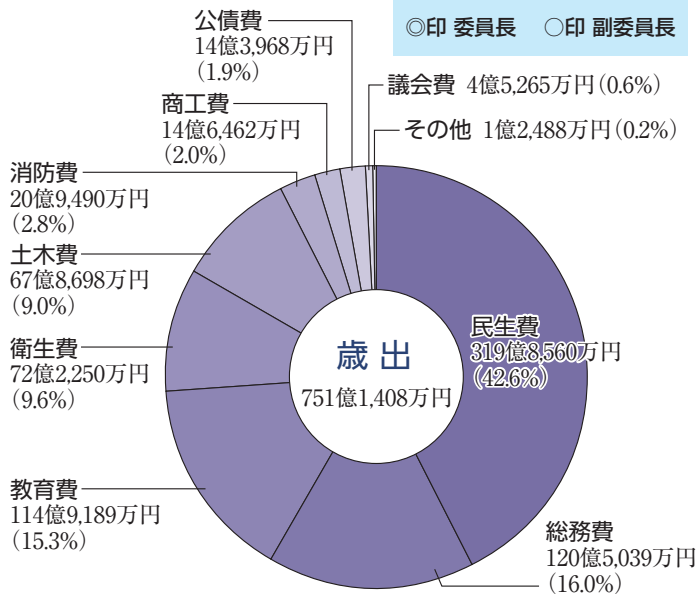
◎木崎 剛 西園寺みさこ
道場ひでのり 深田貴美子
本多 夏帆 小林まさよし
浜田けい子 さこうもみ
本間まさよ 川名ゆうじ

◎印 委員長 ○印 副委員長



木崎 剛 決算特別委員長

人口1人当たり 50万6,856円
1世帯当たり 95万4,496円



を実施していたが、他自治体で内部統制制度の整備が広がっており、令和六年度に基本方針を策定予定だ。

.....

問 コロナ禍で国や都からの支援が足りないと感じた点は。また市内への保健所設置に向けた動きを伺う。

答 情報が十分に来ない中で試行錯誤を重ねたが、市の要望により療養者支援センターの設置等につながった。保健所機能は、都の報告書の中で市町村との連携強化が掲げられており、引き続き要望していきたい。

.....

問 決算における不用額について、審査意見書で毎年指摘されているが、不用額減少に向けてどう対応したのか。

答 予算編成段階から精査するほか、百万円以上の未執行予算は最終補正時に減額補正するよう周知した。

歳入

ふるさと納税による歳入減の影響への対応は

問 ふるさと納税により、他自治体への流出額が大きいが、対策は。

答 令和4年度の決算でも十一億四千三百万円の影響額が出た。市では

看過できない状況と考え、東京都市長会を通じ、廃止も含めた制度の見直しや、交付金等による減収補填の制度化等を要望している。

.....

問 キャッシュレス決済やカード決済による納税は、便利だが手数料が発生する。納税者が納める金額は変わらないが、市の収入は、本来の金額よりも手数料の分が減少してしまふ。この影響や対策をどう考えるか。

答 個人市民税等のQRコードでの納付は、一件当たり五十五円の手数料がかかる。総務省からは金融機関の手数料を適正に支払うよう通知があり、対応を検討している。

総務費

地域のあらゆる人へ子どもの権利条例の周知を

問 すべての市民の方に子どもの権利条例への理解を深めてもらうために、どのようなことを行っていくのか。

答 市民活動推進課で実施するどこでもミーティングや、学校等に出向いての説明などを実施していく。また、各課でもさまざまな場で子どもへの声を聞く仕組み作りが必要だ。

.....

問 パートナリシップ制度の申請に事前予約が必要な理由を伺う。また、本市の制度開始から七か月後に開始した東京都の制度との違いを伺う。

答 市独自の制度であり、法的効力がないこと等の説明を丁寧に行うためだ。都の制度はどちらかが性的マイノリティであることが要件だが、本市は性別を問わず利用できる。

.....

問 市の広報において、複数の事業を一緒にアプローチするなど、横断的な広報をすることでより効果的に周知が図れるのではないか。

答 横の連携を取るものの必要性は感じている。全庁的に広報広聴の意

識を持つための検討をしていきたい。

.....

問 公募プロポーザルに応募がなかった吉祥寺東町一丁目市有地利活用事業の今後の進め方を伺う。地元住民の意見や要望を聞き再検討しては。

答 分野横断的な事業のため既存の補助制度が活用できず、財政的支援をどう行うか整理が必要だ。検討を開始して八年、市民に多様な意見を聞いてきた。コンセプトは大きく変えず、事業の在り方を整理したい。

民生費

福祉総合相談窓口で多様かつ複合的な課題の解決を

問 福祉総合相談窓口はコロナ禍でどのような相談が多く、どの程度継続して相談を受けることが多いのか。

答 引きこもり関連の相談や、多様かつ複合的な課題を抱えた相談が多い。福祉相談コーディネーターが少しずつ課題を解きほぐしながら対応するため、年度をまたぐこともある。

.....

問 保育所運営補助金の不正受給について、返還金額の算定方法は。また、期日内に返還されたのか伺う。

答 提出された資料に基づき本来の補助金額を算出し、延滞利息を含めて返還金額を確定した。正式な入金が確認できしだい報告する。

.....

問 民間学童クラブの開設支援は事業目的を果たしているのか、見解は。

答 保護者の多様なニーズに対応するよう公設を補完する形で行いたい。

.....

問 コロナ禍を経た介護事業者の現状および介護人材確保の課題を伺う。

答 通所介護は利用者が戻っておらず、各事業者でメニューを工夫するなど対応している。人材確保については介護職・看護職Rｅスタート支援金等を活用するよう案内している。

衛生費

武蔵境駅南口公衆トイレの実際の建設費用を広報せよ

問 武蔵境駅南口公衆トイレの実際の建設費用について、税金の使途はきちんと広報するべきだが、見解は。

答 決算金額は八千五百三十九万七千円で、都の市町村総合交付金制度を活用し四千九十三万円の補助を受けている。必要に応じ広報していく。

.....

問 気候市民会議の成果と展望は。

答 本市の縮図のような形で意見を聞くことができた。今後は市民が行動するタイミングで市民活動プランを思い出す仕組み作りが必要だ。

.....

問 保健センター増築および複合施設整備について、管理運営費のうち千二百四十万円を設計のために支出しているが、理由を伺う。

答 基本計画に基づいて基本設計を作成するため、委託した設計事務所に対する前払い金として支出した。

.....

問 市民の健診結果は悪化傾向だが、課題をどのように捉えているか。

答 健診を受けただけでなく治療につながることを重視し周知啓発する。

.....

問 クリーンセンターの災害時BCPにおけるごみ発電の想定は。

答 基本的な枠組みは定めているが、発電容量は季節により変わるため、送電先の優先順位等を精査している。

農業費・商工費

武蔵野市の魅力ある事業者へ適切な支援を求む

問 CO+LAB MUSASHINO(コラボむさしの)の事業目的や成果、課題、今後の展望を伺う。



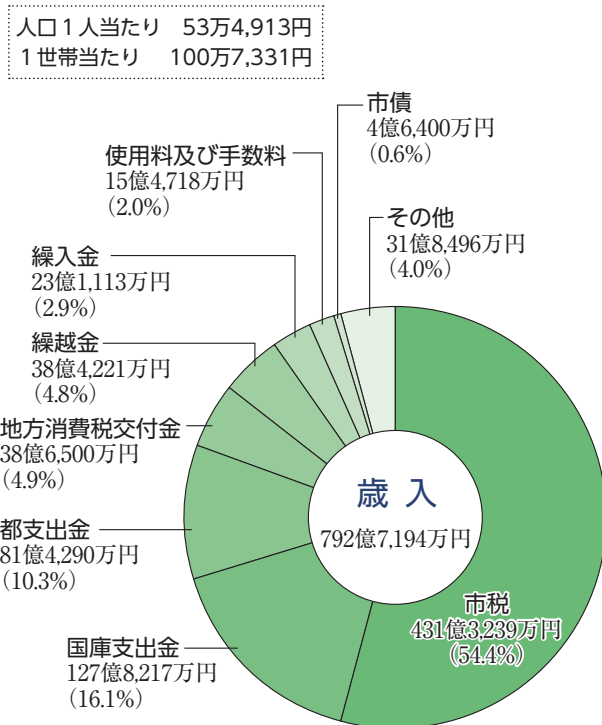
決算特別委員会の審査風景

決算特別委員会

※令和4年度（令和4年4月から令和5年3月まで）
決算の審査内容を掲載しています。

審査

一般会計歳入決算の内訳 および歳出決算の目的別内訳



土木費

大木・シンボルツリー 二〇〇〇計画の見直しは

問 大木・シンボルツリー二〇〇〇計画の今後の見直しを伺う。

答 現在、二千二百七十六本を指定しているが、民間の樹木は減少傾向であり、公園など公共施設の樹木で

問 肥料価格上昇対応臨時補助金の評価と課題、今後の対応を伺う。

答 上限の十万円に達したのは三経営体のみであったため、補助金額は適正だ。令和五年度は、補助範囲を消耗品等にも広げて対応したい。

問 市内事業者の連携を推進し、各個人の魅力を高めることを目的とし、十九事業者が参加、約三十のコラボ商品が実現した。令和四年度のイベントでは多くの来場があったが、商品供給が追いつかなかったことが課題。令和五年度は、小さなイベントへの出店で分散化を図る等試行する。

答 補っている状態である。本数にこだわらず緑豊かなまちづくりを進める。

消防費

見直し後の地域防災計画で 早急に対応すべき課題は何か

問 東京都が定める都市計画道路の整備方針に関し、第五次事業化計画の策定への市民参加をどう考えるか。

答 計画の策定については未定だが、都が今後の策定スケジュール等を示した場合は、近隣市区の状況や市民の意向を踏まえ整備路線を考えたい。

問 自転車のルール・マナー向上に関し、現状と今後の方向性は。

答 安全利用講習会等を引き続き行うとともに、三鷹市と連携して啓発活動を始めた。今後、子育て中の方も講習会へ参加できる工夫をしたい。

問 二十三区では安全性の点から公園の遊具が減少しているとの報道があるが、本市の状況を伺う。

答 本市においては遊具が減っていることはなく、新設の公園にも、希望があれば積極的に設置している。

教育費

不登校の児童生徒への支援と 学ぶ権利の保障を

問 図書館の学校教育への活用等の観点から、小学生の図書館見学や図書館と学校の連携が必要だが見解は。

答 図書館職員と司書教諭の連絡会等で見学の周知をしている。見学に来ていない学校の理由を把握し、連

問 他市は中学校の特別支援学級の設置校数が本市より多く、スクールバスを運行しないことが多い。本市は学級設置校が少ないため、支援体制が十分でないと感じるが見解は。

答 市によって設置校の数等さまざまな違いがあるが、本市の中学生には、小学生との体力の違いや発達段階への対応として、公共交通機関を使用し、の登下校をお願いしている。

問 オンライン対応は今後の多様な支援の一つと認識しており、学級担任とオンラインでやりとりするなどの対応を行っている。

答 オンライン対応は今後の多様な支援の一つと認識しており、学級担任とオンラインでやりとりするなどの対応を行っている。

問 令和四年度に地域防災計画の見直しが行われたが、計画の中で早急に対応すべき課題をどう考えるか。

答 災害時地域支え合いステーションの在り方の検討や、災害時要配慮者の対応の実効性等が課題である。関係者や関係部署が多く、調整が困難で、これまでなかなか進まなかったが、今後も丁寧に進めたい。

特別会計

国民健康保険制度を 持続可能な制度にするには

問 繰入金金の状況も含め、国保財政は厳しい状況にあるが、制度を持続可能にするための対応について伺う。

答 法定外繰入金金は二十六市の中でも特に多い。国や都には要望を毎年出しており、市としても財政健全化計画に基づき赤字削減に努めたい。

問 介護職・看護職 R ースタート支援金制度の申請者の定着状況は。また、交付金額等の見直しを図っては。

答 交付要件達成後、定着状況の件数調査は行っていないが、施設長会等でヒアリングを行い参考としたい。第九期介護保険事業計画専門部会でも人材に関する意見を多くいただいております、今後も検討していきたい。

水道事業会計

電気代高騰で都からの受水増加 水道財政への影響は

問 電気代高騰による地下水のくみ上げコスト増加のため都からの受水量を増やしているが、かえって全体の費用が高くなっているのでは。

下水道事業会計

雨水浸透施設の設置による 効果は出ているか

問 雨水浸透施設の設置による効果は出ているか伺う。

答 わんぱく公園への設置後に台風やゲリラ豪雨等があったが、浸水被害等の報告は受けていない。

監査意見書

一般会計、三特別会計

各会計の歳入歳出決算書および付属書類は、法令に適合して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、正確であるものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は、法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿および証書類と符合し、計数は正確なものと認められた。

下水道事業会計

決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に適合し、かつ、正確であることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績および財政状態を適正に表示しているものと認められた。

下水道事業会計

決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に適合し、かつ、正確であることを確認した。

また、決算諸表は、下水道事業の経営成績および財政状態を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 小島麻里 深沢達也

決算に対する 各会派の討論

9月29日の本会議で決算に対する各会派の賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。このほかに、会派に属さない山本ひとみ議員の賛成討論、下田ひろき議員の、①は反対し、その他の決算に賛成する討論もありました。各会派の構成は8面に掲載しております。

決算特別委員会の詳しい内容は、インターネット議会で中継または会議録でご覧いただけます。会議録は11月下旬以降、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー、または市議会ホームページにおいて閲覧することができます。

- ①令和4年度武蔵野市決算の認定について
- ②令和4年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- ③令和4年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

日本維新の会武蔵野市議団

抜本的な行財政改革と説明責任を果たし 市民が願う安全と安心の市政へ転換せよ



深田貴美子 議員

①反対 ②③賛成

住民投票条例の騒動以来、大きく崩れた市民の信頼を取り戻す市政であったかという視点で審査に臨んだ。施政方針と予算措置は市民ニーズと大きく離れ、抜本的な行財政改革が停滞している。市役所を頂点とする大きな政府ではなく、財政援助出資団体の統合および必要性の検討が必要だ。また、会計処理の見える化にも努めるべきだ。さらに、第六次総合情報化基本計画ではICTを活用したまちづくりの推進をうたっているが、具体的な成果や取

り組みが見られない。財政ひっ迫を解消する努力もせず、公共施設の複合化・多機能化によるコスト削減も行わず、市民の住環境を圧迫するまちづくりで、人口増加に頼る財政予測を果たして計画行政と呼べるか疑問が残る。議会軽視は市民軽視につながる。すべては市民の財産であり、法令順守の下、説明責任を果たせる市政でなければならない。市民の願う安全安心の市政への転換を強く要望し、一般会計決算の認定には反対し、他の会計に賛成する。

みらいのムサシノ

市民一人一人の声に寄り添った 武蔵野市らしい市政運営を



さこうもみ 議員

①②③賛成

コロナウイルス感染症への対応が継続する中で、ウクライナ侵攻によるエネルギー価格や物価の高騰等も発生し、先を見通すことも難しく、対応に苦慮する場面も多かったと推察するが、市民の命と暮らしを守るため奮闘されたことを高く評価する。市税収入は市民の方々の担税力に支えられ、8%増と非常に順調だったが、ふるさと納税による税収の流出は拡大する一方で、制度の見直しを求めるなどの根本的対策が必要である。コロナの感染対策が引

き続き必要な中、対面イベントも徐々に再開され、コロナ禍で広まったオンラインイベントとの併用開催など、新しい試みも多い一年だった。気候市民会議の開催など、市民の声を丁寧に聞く施策や武蔵野市らしい事業も実施され、大きな成果を出している。厳しい社会情勢の中、格差の拡大、二極化の問題も広がっており、公の役割として、誰一人取り残すことなく丁寧に取り組む必要がある。今後も、市民一人一人の声に寄り添った市政運営を求める。

ワクワクはたらく

コロナ禍の振り返りを経て、事業やサービスの 精度向上に取り組み、新たな価値の提供を



本多夏帆 議員

①②③賛成

審査を通じてコロナ禍の影響の大きさを感じた。情報の共有やデータに基づく議論、データの活用はとても大切であり、今回の決算資料の記載ミスは仕組みの部分から改善を求める。また、コロナ禍でICTの活用状況も劇的に変化しており、特に不登校支援の分野へ積極的に活用することを強く求める。会派としては、現在市が行っているサービスや事業の精度を高めることに注目している。毎年新規事業に取り組んでいるが、既存の事業をもっと改善

できないか、より良い成果につなげられないか、コロナ禍が少しずつ落ちてきた今こそ、そういった点に比重を移してほしい。そして、行政が提供すべき機能やサービスを、根本的な部分から練り上げ、新たな価値の提供につなげてほしい。そのためには、徹底的な調査分析や市民との対話から実態やニーズを捉え、寄り添う姿勢がお互いに大切である。今後より実態に即した着実な市政運営を行っていただくようお願いし、賛成する。

市議会公明党

公平・公正なベーシックサービスで 市民に寄り添う市政運営を



浜田けい子 議員

①②③賛成

令和4年度予算は「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ」として編成された。新型コロナウイルス感染症がさらに感染拡大したうえ、ロシアによるウクライナ侵攻や円安への為替変動等でエネルギー価格や物価が高騰したことが、市民生活や社会経済に大きな影響を及ぼした。市はこれまでの経験や課題を報告書としてまとめているが、それらを未来への教訓とすることと、今後持続可能な市政運営にどう取り組むかと

いう観点を持つことが必要だ。歳出面では、不用額が令和3年度から約7億5千万円増加しており、抑制に努めてもらいたい。6回の補正予算を計上し、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業や、第3弾となるくらし地域応援券事業を実施し効果を上げたこと、業務のICT化が進んだことも成果と考え、さらに自治体DXの推進をお願いする。今後も堅実な財政運営を心がけ、市民に寄り添う市政運営をお願いし、賛成とする。

日本共産党武蔵野市議団

新型コロナや物価高騰対策をはじめ、命と暮らし、地域経済を支援する施策を評価する



本間まさよ 議員

①②③賛成

2022年度は、ロシアによるウクライナ侵略が世界中に重大な影響を及ぼした年であった。新型コロナウイルス感染症も感染が拡大し、重大な事態が続いた。こうした状況下で、市独自の自宅療養者支援センターによる食料品等の感染者への支援や感染対策の実施を評価する。また、物価高騰対策として、くらし地域応援券の発行、保育施設等への食料費や光熱費の支援など、きめ細かく手厚い支援が行われた。平和については、憲法施行75周年にあたり、

憲法手帳の増刷、長崎への青少年平和交流派遣団の派遣が行われ、核の脅威を具体的に感じとってもらう貴重な機会となった。18歳までの医療費無償化は、国保の国庫負担金減額というペナルティによる、市財政への影響を明らかにすべきだ。また、学校給食の無償化や補聴器の購入助成も広がっており、早急な実施を求める。さらに、株式会社の保育所補助金不正受給問題については、補助金の原資は市民の税金であり市として厳格な対応を求め賛成する。

立憲民主ネット

コロナ禍においても堅実な財政は評価するが、 予算執行後の評価を確実にを行うことを提案



川名ゆうじ 議員

①②③賛成

令和4年度はロシアによるウクライナ侵攻を発端とした物価や人件費の高騰など予期せぬ事態もあった。教育現場でも他自治体で民間給食事業者の自己破産により給食提供ができない事件があった中、本市の学校給食が物価高騰に見舞われても不確実性から免れていることの価値を痛感した。こうした状況下でも、本市の財政面は極めて優秀な年度となった。これは単年度だけではなく長年の努力のたまものであると評価する。決算審査に際し、必要性、

効率性、有効性の観点から評価を行い、予算の執行額だけでなく、執行後どのように市民福祉に結びつくのかの成果に着目し審査した。その中で、予算では熱心に説明しても決算では触れられていない事例があり、事業執行を次年度予算に反映するという決算審査の目的が果たせなくなってしまうため、改善を提案する。令和4年度は物価高騰など先の見えない年度であったが、今後もゆとりのあるペースで的確に業務を進めるよう提案し、賛成する。

自由民主・市民クラブ

市は隠し事なく議会と問題意識を共有し、 市民の最善の利益を追求する市政運営を求める



小林まさよし 議員

①②③賛成

令和4年度決算は、会派内で反対の声もあったが、コロナ禍の影響やロシアによるウクライナへの軍事侵攻等により想定以上の混乱があったことを踏まえ、市が議会と問題意識を共有し、市民の最善の利益を追求するための市政運営が行われることを強く期待して賛成とした。しかし、次の事業については指摘したい。まず、第一中学校改築工事入札不調は、予算・工期に見誤りがあり、児童生徒など市民生活に影響を与えることになった。この教訓を

今後の公共施設再整備に生かしてほしい。次に、吉祥寺東町1丁目市有地利活用事業は、コンセプト・事業内容等の問題を指摘してきたが、入札不調であった。地元住民の意見を聴いて前に進めてほしい。また、吉祥寺本町1丁目27番街区の土地は、裏付けのない限定価格での評価により購入され、必要以上に多額の税金を投入したといえる。市政運営にあたっては、市関係者にこれまで以上の強い問題意識を持ってほしい。今後の大きな変化を期待する。

一般質問

第3回定例会では9月5日、6日、7日に22名の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

詳しくは、11月下旬発行予定の会議録（設置場所：各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所7階市政資料コーナー）、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月30日登録予定）、インターネット議会中継でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の状況や将来に対する方針等について、質問をしたり、説明や報告を求めたりすることをいいます。

松下市長の今後の政治家としての歩みを伺う



下田ひろき 議員

問 市長が次期衆議院議員選挙に出馬し、国政に出るのではないかと噂がある。西東京市で政治活動を始め、田無駅北口で街頭演説会をしたと聞くが事実か伺う。

答 個人の政治活動に関することであり、議会の場でお答えすべきことではないため、答弁を差し控える。

問 市長の政治活動等に関する国会議員や元市長のSNSでの投稿に関して、反論や見解はあるか伺う。

答 インターネットなどに流布されているデマやひぼう中傷が社会問題となっており、非常に課題だという認識を持っている。

このほか、銭湯支援、歩道の街路樹・植栽の維持管理、新型コロナウイルス感染症ワクチンの副反応に関する周知についての質問がありました。

個別最適な学びと協働的な学びの実現のため、本市の学校教育が直面している課題は



与座 武 議員

問 本市の学校教育が直面している課題と対応について見解は。

答 社会に開かれた教育課程の実現、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の実現のため、授業観を転換させていくことが課題だ。本市の学校教育は子どもと教員、地域社会のウェルビーイングの実現を目指しており、その視点を大切にしたい。

問 教科担任制に類似する市講師制度は①長時間労働の是正・働き方改革につながるものか②時間割調整が複雑化していないか。

答 ①持ちこま数、在校時間ともに縮減し、働き方改革につながっている②調整が複雑化しているため、各校にて工夫している。

問 交流市町村協議会以外の市町村との災害時相互支援は可能か。

答 明確なルールはないが、所管課が主体的に情報共有し、必要に応じて防災課を通じて支援することを改めて庁内に周知する。

学校給食無償化、学童クラブでの昼食提供、児童館増設、障がい者の権利推進を求める



三島杉子 議員

問 学校給食無償化を求めるが、見解を伺う。

答 重要施策であり、第六期長期計画・調整計画策定の過程で議会や市民との意見交換を行い、理解を得たうえで実施したい。

問 学校長期休業中の学童クラブでの昼食提供を求めるが見解は。

答 保護者会実施の弁当配食は、保護者の負担軽減の方策の検討も含め、学童クラブ運営主体の子ども協会等と協議したい。

問 東部地域に青年まで対象の児童館設置を求めるが見解は。

答 既存施設の活用も含め、子どもの居場所を検討したい。

問 地域生活支援事業を活用した代筆・代読支援拡充への見解は。

答 他自治体も参考に支援の仕組みについて研究していきたい。

問 送迎つきの放課後等デイサービスの日数制限を解除しては。

答 事業所と相談して利用の公平性を担保し、可能性を検討する。

歴史観に立った住民投票制度の論点整理を望む



大野あつ子 議員

問 これまで脈々と続けられてきた市民自治の歴史を踏まえ、武蔵野市民に特化した住民投票制度の論点整理が必要では。

答 住民投票制度は、より進んだ市民参加を実現する手法と捉えており、本市の市民自治にふさわしい制度となるよう検討する。

問 歴史・文化・芸術に関する資源が豊富な本市の特徴を生かした面的なシティプロモーションを強化するべきではないか。

答 それぞれの要素を効果的に発信し、市民の愛着や誇りを高め、広い対象への効果的なプロモーションの在り方を研究したい。

問 ひきこもり支援における当事者や家族に対するアプローチは。

答 ひきこもり等の当事者団体へ委託するなど、経験の中からの支援や相談により安心感が得られるよう努めており、支援事業に参加しやすいよう他自治体と連携し、広域支援も行っている。

子育てと介護の視点からの防災対策と、給食の質の維持を求める



笹岡ゆうこ 議員

問 福祉避難室「おもいやりルーム」について①該当者が多く、不足することはないか②母子避難所の設置について見解は。

答 ①在宅避難の周知啓発をする②他自治体の事例を研究する。

問 避難所運営に子どもたちの活用が検討されているが、PTSDを防止する心のケアについて取り組むべきでは。

答 学校関係者と連携した、組織的な対応が重要であると考えている。

問 高齢者の在宅避難は、孤立しない情報提供の工夫が必要では。

答 情報提供の在り方やつながり方は今後検討し取り組んでいく。

問 本市の給食の安全への取り組みは半世紀にわたり理念を継承してきたが、今後も質を維持するため調理指針を条例化しては。

答 指針の理念は非常に大切に今後も引き継いでいくが、栄養価等の基準の変更に柔軟に対応するため条例化は考えていない。

関東大震災から100年私たちは何を学ぶか 流言飛語やデマを出さない取り組みを



山本ひとみ 議員

問 今年で100年目となる1923年9月1日の関東大震災では、流言飛語により犠牲となった朝鮮人・中国人もいる。流言飛語やデマを出さない、拡散させない取り組みをどのように行うか。

答 大震災のときに起きた不幸な事実から目を背けず、一人一人が正しい情報を入手し、考えを発信していくことが必要である。

問 中学校の知的障がい特別支援学級の生徒は、社会的な自立につながるよう自力で公共交通機関を利用しているとのことだが、自立の在り方を一律に強要してはいけないと考えるが見解は。

答 個別の生徒への対応については今後検討していきたい。

問 精神科の滝山病院で、入院患者への虐待・死亡退院などが報道されたが、本市の生活保護利用者は何人入院しているか。

答 現在はゼロ人で、平成30年度から令和3年度までは1人だ。

障害があるすべての人が住み慣れた地域で暮らし続けるという基本方針を順守せよ



小美濃安弘 議員

問 障害があるすべての人が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できることが市の障害者福祉の基本方針と考えてよいのか。

答 第6期障害福祉計画の基本目標であり、市の基本方針である。

問 わくらす武蔵野の入所基準は原則18歳以上だが、高校3年生の卒業見込みの生徒まで拡大することについて、見解は。

答 卒業後の生活状況等を考慮し、事業者と意見交換したい。

問 知的障害の重度訪問介護利用は2名だ。拡充を望むが見解は。

答 個々の状況を聞き取り、適切な支援につなげることが重要だ。

問 保育所の補助金不正受給に関し、被害届の提出など厳正なる対応をし、市民や議会への説明責任を果たしてほしいが見解は。

答 公訴時効を迎えており難しいが、弁護士とさまざまな手法を検討する。また市民や議会に対し分かりやすい説明に努めたい。

改築された中央高架下公園の運営状況は



道場ひでのり 議員

問 中央高架下公園の運営に関し、高架橋脚があるため、死角の心配があり、防犯カメラが設置されたが、運用と考え方は。

答 2基の防犯カメラを試行設置し、画角などを確認している。

問 試行の結果、一定の評価があれば、他の公園にも防犯カメラの設置を随時拡大していくのか。

答 現在、中央高架下公園のカメラの映り込み状況を確認している段階で、今後の全体的な方針は立てていないが、この状況を見ながら、他の公園にも拡充したいと考えている。

問 高齢者が運転操作ミスにより、思いもしない事故を起こすことは悲劇である。自動車運転免許返納に関し、市の見解を伺う。

答 免許返納制度がある一方で、個々の運動能力や生活習慣には違いがあり、一律に免許返納を促進するのは難しいと考える。

少子化対策・子育て支援の一環として学校給食の無償化を



きくち由美子 議員

問 小・中学校の給食無償化について、見解と現在の進捗状況は。

答 子育て支援の観点からも重要な施策だが、第六期長期計画・調整計画の議論を踏まえて判断したい。また、国や都に対し、法改正を伴う制度としての無償化や財政援助を要望している。

問 小・中学校の通学時の携行品の重量化について、対策は。

答 教室後方に棚等を作成し、置き勉がしやすい環境にしている。

問 交差点名称や道路標識の英語表記が、Gosho dori、5th Elem. Sch.等、統一性がないが見解は。

答 標識の建て替えや改修に合わせ、必要に応じ改善している。

問 近隣市のシルバー人材センターで、登下校時の児童生徒の交通安全見守りを仕事で行っているが、本市でも取り組めないか。

答 公共性、公益性の高い分野で就業に積極的に取り組みたい。

市職員の女性管理職比率20%を目指し不妊治療と仕事の両立支援などを求める



さこうもみ 議員

問 市職員の女性管理職比率と目標値の20%を達成するための課題を伺う。また、不妊治療と仕事の両立支援の実施状況は。

答 13.8%と過去10年で約2倍となった。管理職を希望するにあたり家事や子育て、介護等との両立が課題だ。また、不妊治療との両立支援は新任課長研修等で伝え、情報共有している。

問 男性へのHPVワクチンの接種勧奨や助成の検討状況を伺う。

答 実施自治体は限定的だが、国や自治体の動向に関し情報収集に努める。接種可能な医療機関について市民周知も検討したい。

問 青少年平和交流派遣事業のフォローアップ体制と市の見解は。

答 過去の参加者に対して平和への関心等に関するアンケートを検討する。次世代への継承が課題であり平和施策のあり方懇談会の意見も参考に若い世代が企画する平和事業等に取り組む。

インクルーシブ教育の前進、安全・安心のまちづくり、適正な契約の実施を願う



宮代一利 議員

問 特別支援学級等を作り障害を持つ子どもを分けてしまう日本のシステムでは本当のインクルーシブ教育にならないが見解は。

答 個別の教育的ニーズに対応するために特別支援学級等があり、通常学級との交流および共同学習を行うことが大切だと考える。

問 安全・安心のまちづくりにおける、ブルーキャップとミッドナイトパトロールの今後の対応と人員強化について見解を伺う。

答 ブルーキャップ等事業者と定期的に協議と調整を行い、客引き行為等に対し口頭注意を粘り強く行う。まずは現在の体制や制度の中で最善を尽くし、必要に応じて人員増加を検討する。

問 契約に関し定期監査で毎年指摘があるが現状と今後の対応は。

答 毎年同様の誤りがあり残念だ。研修やシステム改修を重ねチェック体制を整える等、不断の努力で庁内全体の理解を深める。

一般質問

命を守る防災教育と家族介護者支援を



浜田けい子 議員

問 防災教育ポータルサイトの授業や防災訓練での活用状況は。

答 学校では、毎月実施している安全指導の中で活用している。

問 本市での気象防災アドバイザーの活用について、見解を伺う。

答 他市の事例の情報収集を行い、本市で活用できるか検討する。

問 防災士の資格取得に係る講座費用の補助が必要だが見解は。

答 防災推進員の能力向上の一環として、必要に応じ検討する。

問 軽度認知障害の段階でもの忘れ相談医につなげる取り組みは。

答 早期発見が重要であり、相談窓口の認知度を一層高めていく。

問 ヤングケアラー支援について、福祉分野と教育分野が連携して支援していく方針を計画にも反映させるという認識でよいのか。

答 重大な課題と考えている。視察や事例検討等を通じて連携方法を検討し、研修を行い理解を深め、計画にも明記したい。

攻めのスタートアップ・事業承継支援と職員の政策形成能力強化を求める



東山あきお 議員

問 スタートアップや事業承継支援では、経営人材の育成が重要である。他市事例を参考に攻めの支援を行ってほしいが見解は。

答 現在、第三期武蔵野市産業振興計画を策定中であり、どのように攻めの姿勢を打ち出せるかを議論して取り組んでいきたい。

問 自治体シンクタンクの設置やデータサイエンティストの採用により、データ分析・政策形成能力の強化が可能となる。子育て・都市計画・シティプロモーション等、あらゆる行政分野での調査研究能力の底上げになり、住民ニーズに応えられる政策立案が可能になると考えるが、設置や採用の可能性はあるか。

答 多摩・島しょ地域市町村共同のシンクタンクである東京市町村自治調査会に職員を派遣しており単独設置の必要はない。データ分析の専門人材の採用予定はなく研修派遣等で対応する。

「命」を、「暮らし」を大切にする多様な取り組みを望む



本多夏帆 議員

問 身近な人の死に向き合う市民へのサポート体制を伺う。

答 お悔やみサービスに関する庁内検討プロジェクトチームで手続きだけでなく、ご遺族に寄り添ったサービスも検討したい。

問 死への不安などを一緒に考えられる取り組みについて見解は。

答 相談や気持ちの共有ができるさまざまな場所がある。自分に合う居場所があることなど、尊厳を持って最期までその人らしく生きるにはどのようにしたらよいかという視点で考えたい。

問 子育てに必要なハード面の整備について、周辺エリアの整備状況を加味し、施設改修内容検討の際に議論に入れられるのか。

答 市内に1つ、三駅に1つずつ、地域ごとという三層構造に基づく公共施設整備の議論のそ上には載っていないが、今後の子どもプランの議論の中で本市の考え方を整理できると考える。

保育所運営事業者による補助金不正受給問題の全容解明を求める



本間まさよ 議員

- 問** 不正受給が問題となった保育所の補助金等は市民の税金が原資だが、事業者の不誠実な対応に関し市長の見解は。
- 答** 大切な税金が不正に使われた事実を受け止め厳しく対処する。
- 問** 返還すべき金額はいつまでに確定させ、返還を求めるのか。
- 答** できる限り早く正確な不正金額を把握し、利息も含め返還を求めたいと考えるが、適宜弁護士と相談しながら検討していく。
- 問** 7月に行われた当該事業者の臨時株主総会で、前理事長に約2億9,500万円の退職慰労金支給が議決されたと聞く。株式の大半は前理事長が保有していると聞くが、市は説明を受けたか。
- 答** 事業者から一切の説明がなく、正確な確認は取れていない。このほか、補聴器購入費助成、児童相談所の増設についての質問がありました。

自然の村の安全管理の姿勢が揺らいでいる安全で安心な運営体制を整備せよ



木崎 剛 議員

- 問** 自然の村の安全管理面に不安を感じている。劣化が進んだ施設等が多く、専門家も入れた総点検と緊急改修が必要では。
- 答** 大規模改修に向けて専門事業者に現況調査を委託し、早急に対応すべき事項があれば順次修繕を実施する。
- 問** 自然の村の指定管理者である文化生涯学習事業団による安全確認のしかたが、市の点検チェック項目と統一されていなかったのであれば、安全管理が非常に甘いのではないか。
- 答** 令和4年度から法的には検査対象外の構造物も施設劣化度調査のチェック項目に加えた。今後事業団と共有していきたい。
- 問** 最低賃金改定に伴い、指定管理者制度により行われるコミュニティセンターの管理業務における謝礼金額も上げるべきでは。
- 答** 謝礼金額が適正かどうかは今後議論していく必要がある。

市民の安心・安全を最優先にした計画行政を求める



深田貴美子 議員

- 問** 吉祥寺南病院の地区計画案と森本病院入院病床の現況を伺う。
- 答** 吉祥寺南病院は、まちづくり協議会から判断保留の依頼文書が提出され、手続きは停止中である。森本病院は休止中である。
- 問** 市町村は保健・医療提供体制の構築が責務だが、両病院の合併再建を前提とした地域医療ビジョン2017を改定すべきでは。
- 答** コロナ禍が病院経営へ影響した。新病院建設を見守っている。
- 問** 二中と六中の統廃合や二小移設に関し、①学校施設整備基本方針・基本計画改定は必要か②教育の質や適正規模への見解は。
- 答** ①令和8年度に改定予定だ②統合の可否等を検討するか第六期長期計画・調整計画の策定で議論されており、議論を見守る。
- 問** 不登校児童生徒187名への対策として不登校特例校の設置は。
- 答** 現状の対策に加えて設置すべきかは慎重な吟味が必要だ。

被保険者に不利益が生じないように健康保険証の廃止の中止を求める



橋本しげき 議員

- 問** 関東大震災の発生当時、朝鮮人が暴動を起こした等のデマが広がり、多数の朝鮮人や中国人などが虐殺された。震災という混乱時において、不確かな情報が広がることの危険性を現在においても教訓とすべく、歴史を伝えていく必要があるが見解は。
- 答** 震災の混乱の中で不確かな情報や人々の差別感情によって生じた過去の状況から学び、今後に生かす必要があると考える。
- 問** 現行の保険証廃止後、無保険状態になる被保険者が出ないように市としてどのようなことができるか見解を伺う。
- 答** 被保険者が医療機関を受診しにくくなる等の不利益がないよう、職権による資格確認書の交付等、遺漏のないように努める。
- 問** 国に対し健康保険証廃止の中止を求めるべきだが見解は。
- 答** 廃止を見直し、当面は保険証を存続することを求めていく。

給食費の無償化、HPVワクチンの男性への接種助成、ごみ隔週回収等の方針は



藪原太郎 議員

- 問** 市内でのHPVワクチンの2価、4価、9価ごとの接種率は。
- 答** 令和5年6月末時点でキャッチアップを含め延べ460人が接種した。内訳は2価、4価ワクチン接種者が83人で接種比率18.0%、9価ワクチン接種者が377人で接種比率82.0%である。
- 問** 男性は任意接種となり費用負担が大きい費用助成の考えは。
- 答** まだ限られた自治体でのみ実施しており、今後の国や他自治体の動向を注視し情報収集に努め、医師会と協議を行っていく。
- 問** 学校給食を無償化した場合の効果と課題について見解は。
- 答** 経常的な財政負担を伴うが、子育て支援や食育の点で重要だ。
- 問** ペットボトルの隔週回収は不便だと市民の声があるが見解は。
- 答** 令和2年9月の検証でごみ量削減の効果が認められており、現在見直す予定はないが、市民意見を聞きごみ行政を推進する。

学童クラブでの配食弁当と東部地域に児童館、青少年施設を求める



川名ゆうじ 議員

- 問** 長期休み中の子どもの食、健康を保つことを目的に、早期に学童クラブでの配食弁当を実施すべきと考えるが、見解を伺う。
- 答** 共働き家庭の増加、働き方や家族構成の多様化等により、子どもの昼食を用意することが難しい家庭があることも念頭に置き、今後、昼食の在り方については検討していきたい。
- 問** 桜堤児童館、プレイスの青少年フロアの東部地域からの利用率を伺う。利用率が少ないとすれば、東部地域に児童館や青少年施設を設けるべきではないか。例えば、移転・新築する本町コミュニティセンターのスペースを活用しては。
- 答** 児童館は東部と中部地区の合計で1.4%であり、プレイスは中学生だと西部地区からの利用が多い。本町コミュニティセンターにスペースを設けるかは、事業手法等と併せて検討したい。

学校改築と動物飼育教育、ペット同行避難、生命を守るエアコン設置支援の展望は



蔵野恵美子 議員

- 問** 多くの小学校で猛暑・真冬時にうさぎ等の飼育動物を屋内飼育にしたことを評価するが①室内飼育環境は②井之頭小・五小をはじめ、各学校改築計画での飼育動物に関する検討状況は。
- 答** ①獣医師の指導の下、適切な環境で飼われていると考える②改築懇談会の中で検討するが、各校の詳細は把握していない。
- 問** 地域防災計画に災害時の動物救援本部設置や保護・譲渡等が新たに示されたが、エコr eゾートの活用や体制整備の予定は。
- 答** 発災時はエコr eゾートを動物救援本部とする。また獣医師会等と協力し救護活動への知見を深め、マニュアル改善を図る。
- 問** エアコンの①設置支援は②公共施設での急な故障時の対応は。
- 答** ①生活保護制度の電気代の夏季加算を市長会で要望している②部屋の移動や扇風機の使用、施設間の連携等を想定している。

コスモズ補助金不正受給、二中・六中統合、保健センター増築計画問題等を伺う



小林まさよし 議員

- 問** コスモズの保育園補助金不正受給問題に関し、不正受給額が不明確なら全額の決定取り消しをせざるを得ないが市の見解は。
- 答** 全額の決定取り消しも考えられる。弁護士と相談し対応する。
- 問** 学校改築に関連して二中と六中の統合が検討されているようだが、決定事項ではなく、選択肢の一つという認識でよいのか。
- 答** 二中と六中の統合は決定したものではない。
- 問** レーサムから吉祥寺本町1丁目プロジェクトという資料による提案をいつ受けたのか、日付までしっかり伺う。
- 答** 記録がないため、日付は答えられない。
- 問** 学校の改築問題を最優先にするため、多額の税金がかかる保健センター増築計画について市民の声を受けて縮小しないのか。
- 答** 必要な事業だと認識しており、現時点で縮小する考えはない。

陳情 審議結果

採択

・陳情書への捺印を省略することに関する陳情

不採択

・境南ふれあい広場公園に芝生等の復活を求める陳情
・健康保険証の存続を求めることに関する意見書提出に関する陳情

取り下げ

・住民投票制度の内容を周知し、全住民の意見を聴取することに関する陳情
・住民投票制度をめぐる住民討議会の開催に関する陳情

継続

・吉祥寺本町一丁目十七番街区開発事業者へ安心・安全なまちづくりへの協力を求めることに関する陳情

※

・「住民投票制度に関する有識者懇談会」メンバーの多様化に関する陳情
・武蔵境コスモ保育園の施設整備に係る補助金の不正受給に関する情報を公開することに関する陳情
・吉祥寺本町一丁目キャバレービル建設の見直しを求めることに関する陳情
・住民投票制度をめぐる対応に関する陳情（新規）

（※）は継続審査となっていたものです。

武蔵野市議会ホームページ

<https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>

武蔵野市議会

検索

会議のライブ中継や録画配信、議員の紹介や議案の審議結果等の情報を掲載しています。



インターネット議会中継

本会議、常任・特別委員会の模様を市議会ホームページで生中継しています（生中継の日程は「会議の日程」のページをご覧ください。）。
録画中継は、生中継終了後3日程度（土曜日・日曜日・休日を除く。）で、ご覧いただけます。

インターネット中継(速報版)を実施しています

令和5年度より、市議会インターネット中継の生中継を行った当日中または翌日中（土曜日・日曜日・休日を除く。）に、速報版の映像を配信しています。

会議録検索システム

平成2年8月以降の本会議、常任・特別委員会など、各種の会議録が閲覧・検索できます。会議終了後約2か月程度でデータをアップします。

会派名簿

会派とは、市政について、同じような考えや意見を持っている議員のグループで、議会活動の一つの基盤となります。
※氏名は議席番号順、電話番号は会派控室（市役所7階）の直通電話番号です。議員の連絡先は、わたしの便利帳や市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

自由民主・市民クラブ ☎60-1884	
道場 ひでのり	きくち 由美子
ひがし まり子	小林 まさよし
木 崎 剛	小美濃 安 弘
与 座 武	

立憲民主ネット ☎60-1889	
藪 原 太 郎	蔵 野 恵美子
西園寺 みきこ	川 名 ゆうじ
深 沢 達 也	

市議会公明党 ☎60-1887	
大 野 あつ子	浜 田 けい子
落 合 勝 利	

日本共産党武蔵野市議団 ☎60-1888	
橋 本 しげき	三 島 杉 子
本 間 まさよ	

日本維新の会武蔵野市議団 ☎60-1885	
深 田 貴美子	東 山 あきお

みらいのムサシノ ☎60-1890	
笹 岡 ゆうこ	さこう も み

ワクワクはたらく ☎60-1944	
宮 代 一 利	本 多 夏 帆

会派に属さない議員 ☎60-1909	
山 本 ひとみ	下 田 ひろき

議案等審議結果（議決）一覧

第3回定例会

【市長提出議案(14件)】

- 武蔵野市高齢者福祉サービス事業の利用に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※税制改正に対応するため、介護予防・日常生活支援総合事業の利用料の算定の基礎となる合計所得金額の規定等を、意図せざる影響や不利益が生じないように変更するなどの改正をするもの。
- 武蔵野市市民農園条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※御殿山市民農園および御殿山第2市民農園の廃止に伴い、所要の改正をするもの。
- 武蔵野市みどりの保護育成と緑化推進に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※武蔵野市の他の補助の対象となる費用についても、保存樹林等の維持管理に要する費用の助成を可能とするなどの改正をするもの。
- 武蔵野市下水道条例の一部を改正する条例 可決(賛成多数)
※下水道の使用料の料率を改定するもの。
- 武蔵野市空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例 可決(全会一致)
※空家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴い、法律の引用条項を変更するもの。
- 令和5年度武蔵野市一般会計補正予算(第5回) 可決(全会一致)
- 令和5年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回) 可決(全会一致)
- 武蔵野市立第一中学校改築工事請負契約 可決(全会一致)
※第一中学校の改築工事を行うもの。契約金額は37億9,170万円。
- 武蔵野市立第一中学校改築に伴う電気設備工事請負契約 可決(全会一致)
※第一中学校の改築に伴う電気設備工事を行うもの。契約金額は4億5,312万3,000円。
- 武蔵野市立第一中学校改築に伴う機械設備工事請負契約 可決(全会一致)
※第一中学校の改築に伴う機械設備工事を行うもの。契約金額は8億2,940万円。
- 令和4年度武蔵野市決算の認定について 認定(賛成多数)
- 令和4年度武蔵野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 可決及び認定(全会一致)
- 令和4年度武蔵野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 可決及び認定(全会一致)
- 令和5年度武蔵野市一般会計補正予算(第6回) 可決(賛成多数)

【諮問(3件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(3件) 異議なし(全会一致)
※人権擁護委員に吉安晶子氏、西上原節子氏および伊藤恵子氏を再度推薦することについて、市議会の意見を求めるもの。

【議員提出議案(1件)】

- 健康保険証の存続を求める意見書 否決(賛成少数)

議案等に対する各議員の賛否結果については、市議会ホームページに掲載しています。



議会事務局

TEL 0422-60-1883 FAX 0422-55-7555
メールアドレス ofc-gikai@city.musashino.lg.jp
市議会ホームページ <https://www.city.musashino.lg.jp/shigikai/>



市議会だよりへのご意見、ご要望をお聞かせください。